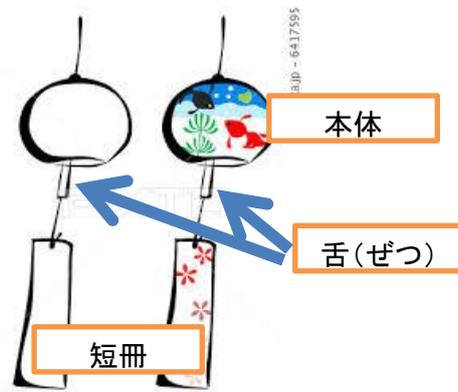


●風鈴の構造について●

短冊で揺らされて本体にあたり音を鳴らす部分
→舌(ぜつ)といいます



ポットベルのつくりかた

本体と舌をつなげる

①まず糸を1mの長さに切ったものを用意し、



②ボタンに糸を通します。



③裏から糸を通し、次に表・裏と合計5回ボタンに糸を通してください。



④植木鉢の穴に糸通して、ボタンが穴に引っかかることを確認します。
写真のように植木鉢の内側にボタンがくるようにしましょう。



⑤つりさげ用のリングを結びつけます。



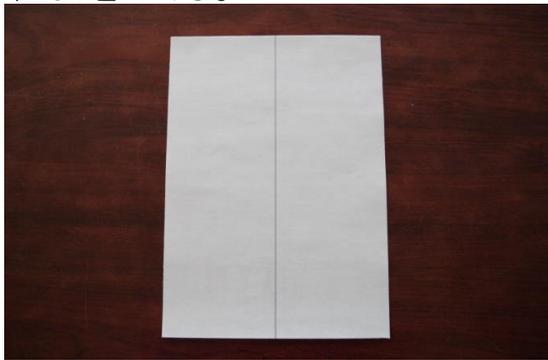
⑥今回は木の玉を舌(ぜつ)に使用します。⑦玉の穴に糸を3,4回ほど軽く巻き通して



⑧植木鉢のふちより玉が少し出る位置で糸をしめて固定します



短冊をつくる。



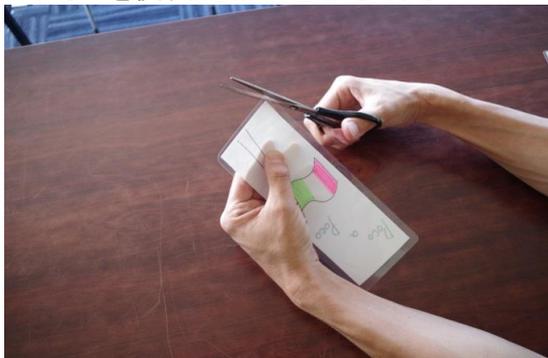
⑨短冊用紙の真ん中の線を折りたたんでラミネートします。左右両方に好きな絵や文字をかきましょう。



⑩ラミネート作成は自然の家の人にしてもらいましょう。(切り取りも同じく)



⑪ラミネートの角がとがっている部分ははさみで丸く切りましょう。(はさみを使うときは注意してください)



⑫短冊の上のほうにパンチで穴をあけて、糸を3、4回ほど巻き結びをしましょう。(短冊がちぎれない強さで結びましょう)



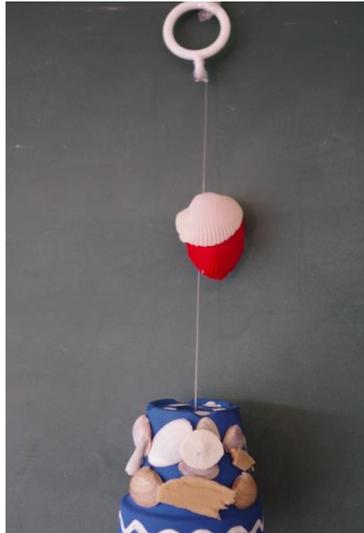
●貝がらの使い方●



※鉢にたくさん貝をつけると音が小さくなるので注意しましょう。

※グルーガンは熱くなるので、使用するときには軍手を身に付けましょう。
※年齢の低いお子さんは大人にってもらいましょう。

●穴があいている貝がらなら、植木ばちとフックのあいだに通すこともできます。



※2,3回ほどぐるっと貝の穴に糸をおきましょう。